

記入例

※処理事項	審査	承認	交付	
	申請者住所			

令和 ××年 ×月 ×日 (宛先) 滋賀県 ○○県税事務所長	免税軽油の使用に係る事務所又は事業所所在地	滋賀県○○市××町10
	業種名	使用者番号 業
	免税軽油使用者証の番号及び氏名(名称)	滋賀県 第××-×-000×号 滋賀 太郎
	この申請に回答する係及び氏名並びに電話番号	申請者名と異なる場合は、記入 (局 番)

免税証交付申請書

機械・車輛又は設備名(番号)	No. 1 ○○トラクター	No. 2 △△コンバイン	No.
	No.	No.	No.

所要数量合計	50	所要数量計算期間	××年 4月 1日から ××年 3月 31日まで
	リットル		

希望する販売業者名及び所在地	免税証の種類	枚数	数量	※処理事項
販売業者名 ○○石油○○給油所	リットル券 100	4	リットル 400	
	50	2	100	
店舗名(所在地) ○○市△町1-23	免税証の種類は、1L、5L、10L、18L、20L、50L、100L、200L、500L券等があります。			
免税軽油を購入する給油所の名称と所在地を記入				
			500	

参 考	前回交付を受けた免税証		左のうちの使用量		(イ) - (ロ)
	計算期間	数量(イ)	期間	数量(ロ)	
	○○年4月1日から ○○年3月31日まで	リットル 400	○○年4月1日から ○○年3月31日まで	リットル 400	リットル 0
	前回交付を受けた免税証に記載された販売業者以外の販売業者から免税軽油の引取を行った場合の販売業者の氏名または名称			数量	
△石油××給油所			リットル 10		
免税証に記載されていない販売業者から免税軽油を購入した場合に記載					

所要数量計算の基礎

申請期間における作物別耕作面積（1反＝約10a）

水稻	100 a	野菜(畑)	a
麦	50 a	大豆	50 a
		休耕田	a
		その他 (果樹・ハウス等)	a

記載要領

- この申請書は、継続務所長に免税軽油使用
- 「※処理事項」欄は
- 「機械、車輛又は設備番号のみを記載するものであること。
- 所要数量の計算の基礎とした計算書を必ず添付共同申請明細書を提出するもの

次のいずれかに該当する方は、報告書の提出期限を「免税証の有効期限の翌月末日」に延長できる「特例適用者の指定」の申請ができます。（申請をしない場合は、原則どおり毎月提出が必要となります。）

- ①申請数量が年間12,000リットル以下の者
- ②国、地方公共団体等
- ③船舶の使用者で遠洋漁業を営む者

県税規則様式第17号の19

免税軽油の引取り等に係る報告書提出期限の特例適用者指定申請書

令和 ××年 ×月 ×日
 (宛先) 滋賀県 ○○県税事務所長 住所 滋賀県○○市××町10
 氏名 滋賀 太郎
 (法人にあっては、その名称および代表者の氏名)
 電話 (077) 123 局 4567 番

滋賀県税条例第58条の12第2項の規定による指定を受けたいので、同条第3項の規定により次のとおり申請します。

免税軽油使用者証番号	滋賀県第××-×-000×号
報告対象期間	交付される免税証の有効期間と同一
免税証の交付申請数量	500 リットル